

いわて平泉米だより

令和5年2月号

金色の風・銀河のしずくの 実績検討会を開催しました

岩手県が推進するブランド米である「金色の風」と「銀河のしずく」の実績検討会を1月19日、開催しました。令和4年度は登熟期間の低温・寡照により未熟粒が多く発生し、くず米の増加により収量が平年並みからやや低い傾向となりました。

来年度の栽培に向けた対策として、1株当たりの茎数が20～23本になったら圃場の中干しを開始するという管理を行うよう指導を行いました。

また、金色の風を出荷する条件として、色彩選別機を利用することが条件に追加されたことを説明しました。



「金色の風」実績検討会の様子



「銀河のしずく」実績検討会の様子